

ビジュアル・インスタレーション&パフォーマンス

BIRGIT KJÆRSGAAR

ビルギット・クラスゴー

" The Mountain of Sadness

- in commemoration of Kinya Tsuruyama

悲しみの山 - 鶴山欣也を偲んで "

2022. 11.3 Thu - 11.17 Thu

13:00 - 20:00

ギャラリー白線 gallery HAKUSEN

[PERFORMANCE パフォーマンス]

2022. 11.5 Sat 18:00 -

雫境 (舞踏)、MORIO (guitar)、KO.DO.NA (trumpet)

[SCREENING 上映会]

2022. 11.5 Sat 20:00 -

阿佐ヶ谷 TABASA にて、cinematique VERDENSURUM-series を上映します。

[POETRY READING 朗読と演奏]

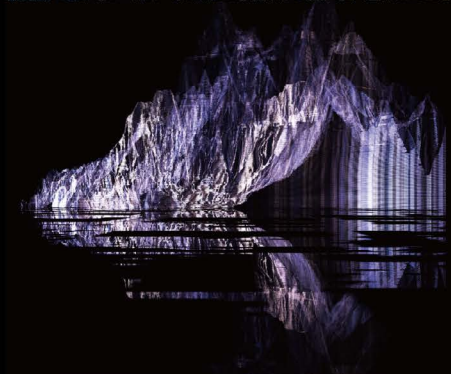
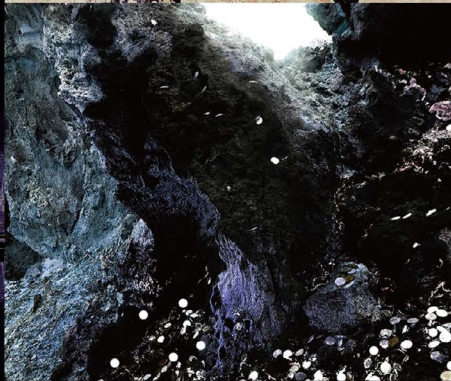
2022. 11.12 Sat 18:00 - ※参加自由

鶴山欣也氏の詩集「西に向かう」に掲載されている詩を、代わる代わるリーディングするイベントです。参加希望者は 17:30 までに会場に集まってください。どなたでも参加いただけます。リーディングだけでなく、演奏に加わりたい人、踊りたい人も、どうぞお集まりください。途中からのジャンプインも歓迎致します。

鶴山欣也詩集「西に向かう」の販売 (税込 ¥1,000) も行っております。

即興演奏 : Jet Poet 有志の会

<http://hakusen.jp/>



BIRGIT KJÆRSGAAR

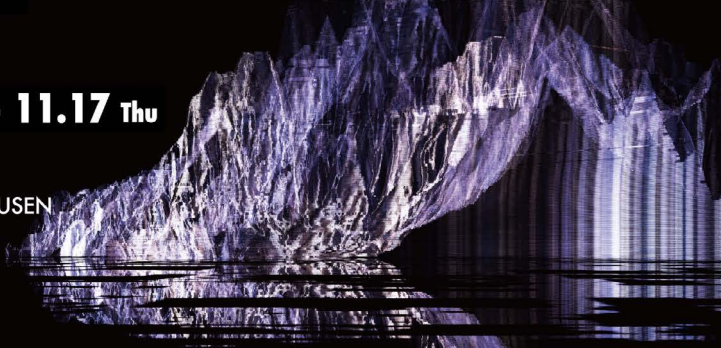
ビルギット・クラスゴー

"The Mountain of Sadness
- in commemoration of Kinya Tsuruyama
悲しみの山 - 鶴山欣也を偲んで"

2022. 11.3 Thu - 11.17 Thu

13:00 - 20:00

ギャラリー白線 gallery HAKUSEN



デンマークのビジュアルアーティスト、ビルギット・クラスゴーによるビジュアルインスタレーション「The Mountain of Sadness」は、霊媒師を媒介として、先祖とコンタクトを取ることができると言われている、青森県にある荒廃した火山地帯、恐山にインスパイアされて制作されました。

「血の池」「魂の川」「天の湖」など、この壮大な景観にインスパイアされたビジュアルとドラマツルギーが、インスタレーションとして展開されます。

その一端は、逝去した舞踏家・鶴山欣也と、彼を探しに恐山を訪れた謎めいた雪の精（西洋版では雪女）の愛と魅惑の出会いの物語です。

物語は、「現世と来世を行き来する魂の行き先としての」恐山という黄昏の世界で繰り広げられます。

ギャラリー白線での展示では、「地獄の源」と「天の湖」にちなんだ2つのタブローが展示されています。

このインスタレーションは、写真、デジタル画像、映像、音で構成されています。

この作品は、2016年から2020年に亡くなるまで、VERDENSRUMシリーズの日本パートについて共同制作していた舞踏家、鶴山欣也氏へのオマージュとして制作されています。彼らの作品である3D-インスタレーション『Landscape / Portrait』は、2018年に阿佐ヶ谷のギャラリー白線で発表されました。

クラスゴーはオーフス大学建築学部とオーフス大学音楽学部で教育を受け、The VERDENSRUM-seriesの制作を開始、これは世界の重要な文化的アイコンまたはメタファーに関する映像とクロスアートのプロジェクトです。このプロジェクトは、ビジュアル、写真、映像、パフォーマンス、サウンドを統合したものです。中国や日本などそれぞれの文化圏でのリサーチに基づいており、様々な分野（劇作家、振付家、コンピュータープログラマーなど）の参加者が参加しています。

助成：デンマーク芸術振興財団（The Danish Art Foundation）

Willie Flindt（演劇コンサルタント）、Ernst Kalleseø（技術コンサルタント）、Oscar Balund Jespersen（音響制作）、Sophie Balund Jespersen（出演）に感謝します。

【BIRGIT KJÆRSGAARD ビルギット・クラスゴー】



オーフス建築学校（1993年）、オーフス大学音楽学部（1984年）卒業。若手建築家と作家のコラボレーション「Architext」（DAC、デンマーク建築センター、コペンハーゲン、デンマーク、1992年）、「Charlottensborgs Autumn Exhibition」（コペンハーゲン、デンマーク、1993年）に参加した。展覧会「子供と建築」（オーフス建築大学、1994年）のための展示デザイン、ヤンニ・ドレイヤーとの共作。#64 Kristensen, Gellerupscenen, Aarhus, 1994 および Cyklotron, Entréscenen, 1995の舞台デザインを担当。1996年から2003年まで、クアラルンプールの Ethospace Designs、KHR AS Architects、3XN Architects などの建築事務所で働く。2004年、世界の重要な文化的アイコンやメタファーに関する3Dフィルムとクロスアートのプロジェクト VERDENSRUM シリーズを開始。世界各地での展覧会多数。

2020年にデンマーク芸術基金から旅行助成と作業助成、また国際活動のためのプロジェクト助成と支援を受ける。

<https://www.verdensrum.com/>

協力：EU ジャパンフェスト日本委員会、CAVI, University of Aarhus、帯川日欧交流基金、デンマーク芸術財団、在日デンマーク大使館



ギャラリー白線 Gallery HAKUSEN
東京都杉並区阿佐谷南 1-36-14 1F
1-36-14 Asagaya-Minami
Suginami-ku Tokyo
<https://hakusen.jp>

